

人前で意欲的に発表することをめざして

1

## 本実践に関連する児童生徒の実態

対象 小学生

### ○課題

- ・場に応じた言動をとることが難しい。
- ・自分の思いを伝える場で緘黙になることがある。

### ○強み

- ・見通しをもつと意欲的に活動することができる。
- ・音読や暗記が得意である。
- ・友達と関わることを好む。

2

## 指導目標・指導仮説

教科等及び単元（題材）名

自立活動「学習発表会で自分の力を出しきろう！」

目標（本実践終了時の期待する子供の姿）

学習発表会の劇で、自分のせりふを最後まではっきりと言う経験を通して、人前で意欲的に発表することができるようになる。

指導仮説

学習発表会に向けて見通しをもたせ、各教科と関連付けた個別の指導及び交流学級での活動をスモールステップで行えば、意欲をもって発表することができるだろう。

児童生徒の実態

3

## 指導仮説の具体的な内容と評価内容・方法

### ◆指導仮説の具体的な内容

- 児童と学習計画を立てて見通しをもたせる
- スモールステップでパターン化する。

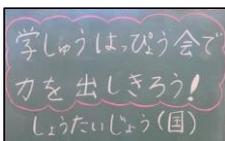
### ◆評価方法（どのような方法で何を評価するか）

実践前後での発表に対する児童の思いを記録したもの（発言・日記）や発表する様子のビデオで児童の変容を評価する。

4

## 指導の実際①

自立活動  
～学習発表会で  
力を出しきろう！～  
①計画を立てよう  
②リハーサルをしよう  
③ふりかえりをしよう



計画を立てよう

【各教科との関連】

国語「しかけカードの作り方」  
学習したことを活用し、  
家族に招待状を作った。



学習発表会に向けて、  
意欲を高めることができた。

5

## 指導の実際②

リハーサルをしよう

ふりかえりをしよう

①合奏（音） 自立活動

【各教科との関連】

音楽「いろいろな音を楽しもう」  
交流学級で、同じ楽器の児童と  
ペアで繰り返しパート練習を行い、  
全体の合奏へつなげた。

本番では、リズムに乗って楽しく  
演奏することができた。



6

### 指導の実際③

リハーサルをしよう

② (げき)(国)(生)(体)(図)  
自立活動

ふりかえりをしよう

【各教科との関連】



- 生活 「めざせ！生き物はかせ」
- 国語 「声に出して楽しもう」
- 体育 「いろいろな国へ行こう」
- 図画工作 「すてきなものいっぱい」

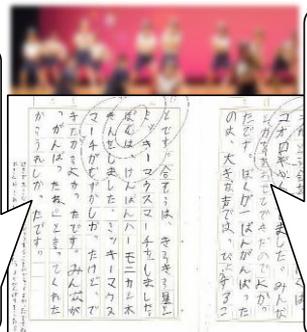
※交流及び共同学習では音読や表現運動、小道具作りを行った。



### 指導の実際④

ふりかえりをしよう

みんなが「がんばったね。」  
と言ってくれたからうれしかったです。



みんなと力をあわせてできたのでよかったです。ぼくが一番がんばったのは、大きな声ではつびょうすることです。

### 実践前後での児童生徒の変容

実践前	実践後
<ul style="list-style-type: none"> <li>学習発表会でうまくできるかどうか不安な思いがあった。</li> <li>多くの人の目があると、音読や発表することが難しかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>役になりきって、友達と一緒に堂々と演技することができた。</li> <li>人前で音読や発表をすることへの抵抗感が少なくなった。</li> </ul>

### 評価

- 児童生徒は目標を達成したか。
  - ・十分達成した。
- 判断の理由・根拠
  - ・学習発表会のビデオで、最後まではっきりと発表する姿が見られた。
  - ・振り返りの日記に、児童が「ぼくが一番がんばったのは、大きな声で発表することです。」と書いていた。
  - ・家族や学校職員など、いつもの児童を知る周囲の人から肯定的な評価を得た。

### 指導仮説の検証

- 指導の成果
  - ・児童に学習の見通しをもたせ、交流学級担任と連携しながら自立活動で練習したことを交流学級での練習に生かし、振り返りを行うことをパターン化したことが有効であった。
  - ・振り返りで、児童の努力やできたことを担任が肯定的に評価したことが有効であった。
  - ・練習中に、友達や交流学級の担任に認められたことが有効であった。
- 課題
  - ・児童が自分の発表の様子を客観的に振り返るための手立てが十分ではなかった。

### 指導の改善案

- 成果・課題を踏まえた改善案
  - ・児童が客観的に自己評価できるように、毎回ビデオを見せて、活動の振り返りを行うようにする。
  - ・今回有効だった「学習の見通し」「自立活動を生かした交流学級での学習」「振り返り」を使い、3学期の6年生を送る会の学年発表でも実施する。
  - ・新たなめあてをもたせ、継続した指導を通して人前で発表する経験を積み重ねていくことで、今後の意欲へとつなげていきたい。